

報道関係者各位

2018年
4月25日
株式会社サンライズ社

企業ブランディングを目的としたショートフィルムの最高峰「BRANDED SHORTS」

サンライズ社が「SUNRISE CineAD Award」を新設

映画館広告の専門代理店である株式会社サンライズ社（代表取締役 田中恒男）は、6月に開催されるアジア最大級の国際短編映画祭ショートショート フィルムフェスティバル & アジア内における「BRANDED SHORTS」部門にて「SUNRISE CineAD Award」を新設致します。

企業と顧客のコミュニケーションが大きく変化した昨今、動画マーケティングに力を入れる企業が増加しています。中でも企業や広告会社がブランディングを目的に制作する「ブランデッドムービー」と呼ばれる映像は、生活者にとっての価値（ストーリー性・エンターテインメント性）と「企業側のブランドメッセージ」を両立して表現しています。

サンライズ社と BRANDED SHORTS はブランデッドムービーをさらに根ざすべく、最もシネマチックなブランデッドムービーを生み出した応募者に向け「SUNRISE CineAD Award」を贈呈致します。また条件を満たした受賞作は副賞として国内映画館においてシネアドとして上映を予定しております。

「映画をコミュニケーションメディアに」を理念とする弊社は設立以来 60 年以上に渡り、オンスクリーンでの企業広告「シネアド」を軸とした映画館広告事業に従事。国内映画館をフルカバーし、多くの広告主にメディア環境を提供し続けてきました。

圧倒的な大画面、迫真の大音響、そして観客との一体感。多くの動画広告があふれる中、シネアドは最も優れた広告視聴環境を提供するメディアと言っても過言ではありません。

企業、広告会社、そして作り手であるクリエイターの方々には、その価値をより高めていただくブランデッドムービーを創造し続けていただきたいと願っております。

弊社ではこの BRANDED SHORTS の取り組みをはじめ、今後も企業と生活者を結ぶ接点として業界の発展に寄与して参りたいと考えています。

ショートショートフィルムフェスティバル&アジア (SSFF&ASIA) とは

今年 20 周年を迎える米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭。

代表は俳優の別所哲也。1999 年に東京・原宿で誕生し、これまでに延べ

38 万人を動員。グランプリ作品は、次年度のアカデミー賞短編部門のノミネート

選考対象になる。世界に羽ばたく若きクリエイターを応援する映画祭。

SHORTSHORTS
FILM FESTIVAL & ASIA

BRANDED
SHORTS

<BRANDED SHORTS 開催概要>

開催日時：2018年6月5日（火）～8日（金） 会場：アンダーズ 東京 Andaz Studio

表彰式 13日（水）会場：BASE Q（東京ミッドタウン日比谷内）

審査員：吉田大八氏（映画監督／CMディレクター）、小山薫堂氏（放送作家／脚本家）、高崎卓馬氏（電通）他

開催についての詳細は Web サイトを参照ください。 <http://brandedshorts.jp>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社サンライズ社 営業企画部 森島

住所：東京都千代田区紀尾井町 3-12 紀尾井町ビル 17F

TEL：03-5211-3776 s-morishima@snr.co.jp <http://www.snr.co.jp>